約束３-(2)　魅力あるまちづくりを進めます。【防災、環境・新エネルギー】

めざす姿

災害に強く、市民が暮らしやすい魅力ある低炭素・循環型のまちになっています。

めざす姿の達成状況を示す指標（数値目標など）

	指標名	取得方法	単位	基準値	上段：年度別目標値 下段：年度別現状値 22	23	24	25	H24目標値に対する達成率	H25目標値に対する達成率
①	**自主防災組織結成率（世帯比率）を２０％に高めます。**	業務取得	%	7	－ 7.9	－ 8.9	12.0 9.5	20.0	×	―
②	災害に対応した備蓄体制の整備を進めます。 防災アセスメントによりH24の基準値取得後に目標値を設定	業務取得	%	－	－ －	－ －	－ －		―	―
	【参考】AP2013指標 地震や台風などに対する総合的な防災体制について満足している市民の割合を増やします。	市民評価アンケート	%	9.7	－ 9.7	－ 13.5	－ 14.7	15.0		
③	安全・安心な生活環境だと思う市民を増やします。	市民評価アンケート	%	－	－ 23.1	－ 24.6	25.0 26.5	28.0	○	―
④	リサイクル率14.9%を目指します。 ※23年度現状値は環境省が公表する「一般廃棄物処理事業実態調査」公表値、24年度現状値は当市による速報値(概算)	業務取得	%	8.7	8.9 8.8	9.1 10.0	13.4 ※11.3	14.9	×	―
⑤	新エネルギーを導入した公共施設数８施設を目指します。	業務取得	施設	0	0 0	2 3	6 6	8	○	―
	【参考】AP2013指標 再生可能エネルギーを導入した公共施設数１６施設を目指します。	業務取得	施設	0	0 0	2 3	6 6	16		
⑥	**新エネルギー・省エネルギーの補助制度による一般住宅への導入を推進します。目標年１００件。**	業務取得	件	0	－ 0	－ 0	100 73	100	×	―
	【参考】AP2013指標 再生可能エネルギー・省エネルギーの補助制度による一般住宅への導入を推進します。目標年５５件。	業務取得	件	0	－ －	－ －	－ 72	55		

H24目標値に対する達成率　○:目標を達成済み　×:目標を達成できない　―:判断できない
H25目標値に対する達成率　○:目標を達成済み　―:目標を達成できない・判断できない

関連指標名	取得方法	単位	上段：数値取得時期　下段：取得数値 H20	H21	H22	H23	H24
弘前市内における犯罪の件数	青森県の犯罪統計資料	件	1,803	1,656	1,791	1,581	1,233

約束全体の評価

めざす姿の達成状況を示す指標６項目について、平成２４年度の目標値に対する達成率は、「目標を達成済み」が２項目、「目標を達成できない」が３項目となっており、達成率は高いといえない状況にあります。これは、目標が高めの設定になっている指標があることなどが影響しているものです。このため、「目標を達成できない」指標の一部について、アクションプラン２０１３で目標値を変更しております。
なお、関連指標の「弘前市内における犯罪の件数」は、減少傾向にあります。

平成２４年度における注目指標のうち、業務取得による「①自主防災組織結成率（世帯比率）を２０％に高めます。」については、Ｈ２４実績が９．５％と目標の１２％を達成できませんでした。Ｈ２５目標の２０％まで結成率を高めるよう、様々な取り組みを行っていきます。
同じく、業務取得による「新エネルギー・省エネルギーの補助制度による一般住宅への導入を推進します。目標年１００件。」については、Ｈ２４実績が７２件と目標の１００件を達成できませんでした。アクションプラン２０１３では補助の目的や対象設備等を見直し、Ｈ２５目標を５５件に修正しました。

次に、個別施策の実施状況ですが、「進捗率」では、９項目中７項目が「工程表どおり実施済み」、２項目が「概ね工程表どおり実施済み」となっており、ほぼ工程表どおり実施されています。「達成率」では、９項目中３項目が「目標を達成済み」、４項目が「概ね順調に推移」、２項目が「遅れている」となっており、概ね順調に達成しています。

施策の実施状況や指標全体の傾向と注目指標の達成状況等を総合的に勘案すると、「安全安心な生活環境を思う市民の割合」と「新エネルギーを導入した公共施設数」は目標を達成していますが、一方では、「自主防災組織結成率」など目標を達成することができなかったものが過半数を占めるため、めざす姿に向けては**遅れている**と考えます。

このことから、今後は、平成２４年度で達成できなかった指標と個別施策の改善について、積極的な取り組みを行うとともに、その他の関連施策についても、災害に強く、市民が暮らしやすい魅力ある低炭素・循環型の魅力あるまちづくりに向けて、着実に推進していくことが必要であると考えます。

個別施策の実施状況

項目	事務事業数	進捗率	達成率
【市民の共助の取組みを支援し、市民や地域の生活環境の安全・安心と防災力を高めます】			
●１　地域コミュニティ単位での防犯体制の整備（コンビニエンスストアとの防災協定など）	1	A	A
☆２　市民防災力の向上	2	A	B
【市の防災・減災体制の整備・強化を図ります】			
☆３　自治体としての防災力強化	3	B	B
☆４　地域をあげた防災力向上	1	A	A
【再生可能エネルギーの活用、りんごの再資源化やゴミの減量化を進めます】			
○５　市立病院等の公共施設への新エネルギー導入や省エネルギーの推進	4	B	B
○６　りんご資源リサイクル検討会議（剪定枝バイオ燃料・絞りかす利用）の設置	2	A	B
○７　生ゴミ市内循環システムなどの構築によるゴミの減量化	2	A	C
☆８　一般住宅への新エネルギー導入や省エネルギーの推進	1	A	C
☆９　次世代のエネルギー利用の構築	2	A	A

進捗率　A:工程表どおり実施済み　B:概ね工程表どおり　C:工程表より遅れている　－:未着手
達成率　A:目標を達成済み　B:順調に推移　C:遅れている　－:判断できない

上段：年度別概算所要額（単位：千円）／下段：年度別決算額（単位：千円）			
22年度	23年度	24年度	25年度
100	6,730	11,410	7,410
15	7,570	80,550	

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容
3-(2)-1	地域コミュニティ単位での防犯体制の整備 (コンビニエンスストアとの防災協定など)	安全・安心のまちづくりを推進するために、次の取り組みを行う。 ①防犯協会・暴力追放市民会議・町会連合会との連携強化による効果的な防犯活動を通じ、地域の自主防犯意識高揚を図る。 ・合同街頭キャンペーン ・リーダー育成研修会　など ②モデル地区を選定し、自主防犯活動支援策の展開を図る。 ・自主防犯啓発決起大会開催 ・防犯啓発用プレート等の作成と配布 ・自主パトロール隊組織及び活動 ・シルバー世帯訪問啓発活動・地域安全マップ作成　など ③青色回転灯防犯車による「見せる防犯」を実施する。 ・公用車に青色回転灯を装着し児童・生徒の下校時に防犯パトロールを実施	進捗率 A	合同キャンペーン、リーダー育成研修会などの開催は、平成24年度において関係機関・団体と連携して実施した。モデル地区選定・自主防犯活動支援策は、三大小学校区の三大地区地域づくり連絡協議会を選定し、「市民参加型まちづくり1％システム」を活用し、防犯活動支援策を行った。青色回転灯防犯車による「見せる防犯」パトロールは、ほぼ毎週実施できた事から**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
			達成率 A	合同キャンペーン、リーダー育成研修会、暴力団追放に係る研修会をそれぞれ1回実施した。モデル地区選定については、平成24年度の目標である小学校1校を選定した。青色回転灯防犯車による「見せる防犯」パトロールは、小中学校の長期休校日を除き毎週実施できたことから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
合同街頭キャンペーン 1回/年	－	－	1	
リーダー育成研修会 1回/年	－	－	1	
その他研修会 1回/年	－	－	1	
モデル地区選定 小学校区 3　中学校区 1 小学校区1(H23)、小学校区1(H24)、中学校区1(H25)	－	2	1	
青色回転灯防犯車による防犯パトロール　1回/週	－	10	49	
【参考】安全安心だと思う市民の割合　H25　28.0%	－	－	26.5	
【参考】キャンペーン、研修会等参加者数　H25　550名	－	－	400	
事務事業名	決算額			
安全・安心地域づくり推進事業	0	0	213	

今後の課題	
	弘前警察署をはじめ関係機関・団体との連携を強化し継続的な協議を行うことにより、目標達成を目指す。また、青色回転灯防犯車によるパトロールの実施回数を増やしていく。

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
☆ 3-(2)-2	市民防災力の向上	進捗率 A	構成する2事業について、それぞれ「工程表どおり実施済み」と評価しており、施策全体についても**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 B	構成する2事業のうち、1事業は「目標を達成済み」であるが、1事業については「概ね順調に推移」と評価していることから、施策全体としては**「概ね順調に推移」**と評価した。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(1)地域防災の中心となる自主防災組織の結成支援、活動支援を行うとともに、市民、町会等への防災意識、地域コミュニティ(自主防災組織等)の重要性・必要性の普及啓発のための研修会等を開催する。	①自主防災組織育成支援事業	進捗率 A	平成23年度に引き続いて防災意識の普及啓発を強化し、自主防災組織の結成・活動支援を行うこととしていたが、資機材購入に対する支援制度の実施、啓発研修会の開催及び広報紙による情報発信に努めたことから、**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。
		達成率 B	研修会及び情報発信については目標を達成したが、自主防災組織の結成数については、目標の年20団体に対して18団体の結成であったことから**「概ね順調に推移」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
自主防災組織結成数 H25新規40団体 (H24～H28で100団体)	－	4	18	
地域防災啓発研修会開催回数 2回/年	－	2	2	
広報紙による情報発信 5回/年	－	5	5	
決算額	－	1,098	6,298	

今後の課題	東日本大震災を経験して高まった防災意識を継続させ、平常時からの防災に対する関心を高めていく必要がある。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(2)市民防災力向上を推進する「地域リーダー」を育成するための講座を弘前大学等と連携して開設するとともに、未来の防災を担う人材を育成するための「防災教育」を展開する。	②防災まちづくり推進事業	進捗率 A	防災マイスター育成講座及びモデル校への防災教育の両事業とも実施したことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	39名の防災マイスターを認定し、防災教育はモデル校8校で実施したことから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
防災マイスター育成 10人/年	－	－	39	
防災教育実施校 H23 3～6校(モデル校選定) H24～25 実施	－	－	8	
決算額	－	532	616	

今後の課題	両事業の実施結果を総括し、今後の方向性について検討する必要がある。

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
☆ 3-(2)-3	自治体としての防災力強化	進捗率 B	構成する3事業のうち、2事業は「工程表どおり実施済み」であるが、残り1事業については「工程表より遅れている」と評価したことから、施策全体としては**「概ね工程表どおり実施済みで、一部が遅れている」**と評価した。
		達成率 B	構成する3事業のうち、2事業は「目標を達成済み」と評価しており、残り1事業については「遅れている」が、施策全体としては**「概ね順調に推移」**と評価した。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
①市の災害危険個所、地震、風水害、土砂災害などの災害による被害想定を把握し、地域実情に沿った実効性の高い防災・減災対策を講じて行くための調査を行う。	①防災アセスメント調査事業	進捗率 A	業務委託による防災アセスメントを実施したことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	目標である「危険箇所の把握、災害による被害想定、地区別カルテの作成」をすべて達成していることから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
危険個所の把握	－	－	実施済み	
災害による被害想定の作成	－	－	実施済み	
地区別カルテの作成	－	－	実施済み	
決算額	－	－	13,860	

今後の課題	防災アセスメントの結果を踏まえた、実効性のある防災・減災対策を実施していく必要がある。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
②災害時において、避難者等に円滑に食料等の供給などを実施することができるような備蓄体制を整備する。 また、広域的な備蓄体制についても整備を進めて行く。	②備蓄体制整備事業	進捗率 C	備蓄物資の購入・配備については平成24年度において実施しているが、備蓄計画については防災アセスメントの結果を踏まえる必要があることから策定しておらず、**「工程表より遅れている」**と評価した。
		達成率 C	備蓄計画の策定について達成できなかったことから、**「遅れている」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
2,000人分の備蓄、備蓄計画策定（H24）	－	－	一部実施済み	
備蓄施設基本設計（H25）	－	－	－	
決算額	－	－	5,356	

今後の課題	災害協定の締結による流通備蓄の確保を進めるとともに、備蓄計画を策定して計画的かつ効率的な現物備蓄を行っていく必要がある。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
③災害時において、応急対策等に必要となる資機材の確保、被災者への物資や食料等の供給のために、市が行う現物備蓄のほかに、民間企業等との災害時における物資や資機材確保・供給などについての協定締結を進める。	③災害協定締結推進事業	進捗率 A	災害協定締結及び防災協力事業所登録を推進するために、市ホームページなどによる事業所等への全般的な周知のほか、個別の働きかけなどを行って事業に取り組んだことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	災害協定締結数及び防災協力事業所登録数とも目標を達成していることから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
協定締結数 15事業所(H25) 10事業所(H22)、11事業所(H23)、13事業所(H24)	10	13	19	
防災協力事業所登録事業所 20事業所(H25) 15事業所(H22)、16事業所(H23)、18事業所(H24)	15	17	21	
決算額	0	64	10	

今後の課題	未締結分野を中心に災害協定の締結を推進していくとともに、既締結分野についても更なる重層化を図っていく必要がある。

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
☆ 3-(2)-4	地域をあげた防災力向上	進捗率 A	構成する2事業について、それぞれ「工程表どおり実施済み」と評価しており、施策全体についても**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	構成する2事業について、それぞれ「目標を達成済み」と評価しており、施策全体についても**「目標を達成済み」**と評価した。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
災害に備えて、市、関係機関、自主防災組織、市民等が連携した実戦的な訓練を実施する。訓練は、広域的な対応も想定し、定住自立圏域市町村とも連携する。また、職員対して災害対応力向上のための研修等を実施する。	①総合防災訓練	進捗率 A	平成24年度は、青森県との合同で青森県総合防災訓練を実施したことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	青森県総合防災訓練へは87機関が参加して実施したことから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
参加機関　35団体以上	－	34	87	
決算額	－	121	467	

今後の課題	関係機関や定住自立圏域市町村とも連携しながら、より効果的な訓練を実施し、圏域全体の防災力を高めていく必要がある。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
災害に備えて、市、関係機関、自主防災組織、市民等が連携した実戦的な訓練を実施する。訓練は、広域的な対応も想定し、定住自立圏域市町村とも連携する。また、職員対して災害対応力向上のための研修等を実施する。	②防災研修	進捗率 A	職員を対象に災害対策本部設置・運営演習を実施したことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	受講者数は43名であったことから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
受講者数　20人以上/年	－	15	43	
決算額	－	0	0	

今後の課題	効果的な職員向けの研修を実施し、災害対応力の向上を図っていく必要がある。

3-(2)-5	市立病院等の公共施設への新エネルギー導入や省エネルギーの推進	進捗率 B	施策を構成する4事業のうち、3事業が「工程表どおりに実施済み」、1事業が「工程表より遅れている」との評価になっていることから、施策全体として**「概ね工程表どおり実施済みで、一部が遅れている」**と評価した。
		達成率 B	構成する事業について、「目標を達成済み」が2事業、「遅れている」が1事業、「判断できない」が1事業となっていることから、施策全体として総合的に勘案し、**「概ね順調に推移」**と評価した。

	H22	H23	H24	H25
決算額	15	5,186	34,645	

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
公共施設への新エネルギーの導入及び省エネルギーを推進し、CO2削減を図るために、次の取り組みを行う。 (1)新エネルギー設備の導入 ・公共施設に太陽光発電システムなど導入	(1)新エネルギー設備導入事業	進捗率 A	平成24年度は、相馬支所、石川小学校、城東児童館に太陽光発電設備を導入することとしていたが、平成25年3月に導入が完了したことから**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。
		達成率 A	目標を「導入施設数3施設」としているが、相馬支所、石川小学校、城東児童館の3施設に導入したことから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
導入施設数 8施設（H25） 2施設（H23）、6施設（H24）	0	3	6	

今後の課題	再エネ基金を活用し、太陽光発電設備等を設置することとしているが、計画どおり進むように進行管理を適切に行っていく必要がある。

実施内容	事務事業名	自己評価					
(2)省エネルギー事業の実施 ・市立病院エスコ事業(※29) ・インハウスエスコ事業(※30) ・ファシリティマネジメント事業	(2)省エネルギー事業 市立病院エスコ事業	進捗率 A	エスコ事業の導入について、省エネルギー診断、弘前市立病院建築総合調査の結果をもとに検討した結果、今後、耐震改修が予定されていることから、既存設備に係るエスコ事業による改修は行わないこととした。また、省エネルギー事業として、照明のLED化を推進し、耐震改修にあわせた再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化を図ることとしたことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。				
		達成率 －	目標は「導入公共施設数」となっていたが、検討した結果、既存設備に係るエスコ事業を行わないこととした。				
		目標		H22	H23	H24	H25
		導入公共施設数 1施設（H25）		－	－	－	
		今後の課題	―				
	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容				
	(2)省エネルギー事業 インハウスエスコ事業	進捗率 A	3年間の事業の総括として「インハウスエスコ事業のまとめ」を8月に作成したほか、新たに3施設（総合保健センター・大成小学校・第三大成小学校）で実施したことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。				
		達成率 A	目標を「導入公共施設数」としており、平成24年度に3施設で実施した結果、累計9施設となったことから、**「目標を達成済み」**と評価した。				
		目標		H22	H23	H24	H25
		導入公共施設数 9施設（H25） 6施設（H22）、6施設（H23）、6施設（H24）		6	6	9	
		今後の課題	弘前市ファシリティマネジメント基本方針に基づきインハウスエスコ事業を推進する。				
	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容				
	(2)省エネルギー事業 ファシリティマネジメント事業	進捗率 C	ファシリティマネジメントについての理解を深めるために庁内研修会を開催した。また、「ファシリティマネジメント推進会議」を設置し、施設の適正配置などについての協議を行ったが、平成24年度は、施設データをデータベース化し、一元管理するためのシステムを導入できなかったことから、**「工程表より遅れている」**と評価した。				
		達成率 C	平成24年度は、市有施設保全管理システムの導入方法について再検討することとしたことから、**「遅れている」**と評価した。				
		目標		H22	H23	H24	H25
		ファシリティマネジメント対象施設件数 900件（H25） 900件（H24）		－	－	－	
		【参考】（仮称）弘前市FM（ファシリティマネジメント）基本方針策定					
		今後の課題	弘前市ファシリティマネジメント基本方針に基づいた管理体制を構築する。				

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
3-(2)-6	りんご資源リサイクル検討会議（剪定枝・バイオ燃料・搾りかす利用）の設置	進捗率 A	施策を構成する2事業について、それぞれ「工程表どおり実施済み」との評価になっていることから、施策全体としても**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 B	構成する2事業について、「目標を達成済み」が1事業、「遅れている」が1事業となったが、遅れている1事業についても事業実施団体が決定し事業に取り組む段階であることを勘案し、**「概ね順調に推移」**と評価した。

	H22	H23	H24	H25
決算額	0	0	0	

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
日本一の生産量を誇るりんごのさらなる活用を図るため、関係機関、関係団体を交えたりんご資源リサイクル検討会議を設置して、剪定枝・搾りかす利用などについて、より付加価値の高い素材への利活用を検討する。	(1)りんご資源リサイクル検討会議設置	進捗率 A	平成25年3月に検討会議を開催し、剪定枝の堆肥化、資材、燃料としての利活用や、収集運搬における問題点を整理したことから**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	目標は「検討会議開催回数」にしており、各年度に1回開催したことから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
検討会議開催数 1回/年	―	1	1	

今後の課題	―

事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(2)りんご資源リサイクル対策事業	進捗率 A	市内農業生産法人が「弘前市りんご剪定枝有効活用事業」を活用し、剪定枝の収集、チップ状への形状加工、白炭・黒炭等への試作品加工、試験、商品化の検討について実施していることから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
	達成率 C	モデル事業に取り組む団体が決定したのが平成25年3月であったことから、**「遅れている」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
モデル事業実施団体数　1団体（H25）	―	－	0	
搾りかすリサイクル率 100%（H25）	98.00%	－		

今後の課題	剪定枝の効率的な回収方法の研究や、より付加価値の高い加工製品の開発に取り組む必要がある。

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
3-(2)-7	生ゴミ市内循環システムなどの構築によるゴミの減量化	進捗率 A	施策を構成する2事業について、それぞれ「工程どおり実施済み」との評価になっていることから、施策全体としても**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 C	構成する2事業が、「遅れている」であることから、施策全体として**「遅れている」**と評価した。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
生ごみの堆肥化を促進し、生ごみの減量化を図るために、次の取り組みを行う。 (1)一般家庭でのダンボールコンポストのモニター事業を実施し、普及啓発を行う。 (2)先進地の「生ごみ循環支援モデル事業」を参考に、当市に適したシステムの実現を図るため、モデル事業を実施する。	(1)ダンボールコンポストモニター事業	進捗率 A	平成24年度は、200名のモニターが7月から9月の3ヶ月間、ダンボールコンポストを実施し、うち171名からアンケートを回収し、その結果、2,980kgの生ごみを減量したことから**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 C	目標のうち、「モニター実施者数200人/年」については達成したが、「モニター事業による生ごみ減量実績5t/年」は2.98tに留まったため、**「遅れている」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
モニター実施者数 200人/年	―	200	200	
モニター事業による生ごみ減量実績 5t/年	―	3.045	2.98	
決算額	0	266	251	

今後の課題	市が作成した「失敗しないダンボールコンポストマニュアル」により、初めての人でも手軽に実施及び失敗せずに継続できるようにする。

事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(2)生ごみ循環支援モデル事業	進捗率 A	平成24年度は、モニターを公募し、6団体（77世帯）が生ごみ処理機を利用して堆肥を作成した。実績報告から9月から2月の6ヶ月間で、5,204kgの生ごみを減量したことから**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
	達成率 C	目標のうち、「モデル事業による生ごみ減量実績11t/年」は5.2tに留まったため、**「遅れている」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
モデル事業による生ごみ減量実績 11t/年	―	－	5.2	
決算額	0	302	3,681	

今後の課題	生ごみ処理機で作られた堆肥の成分分析の結果などをもとに堆肥化マニュアルの作成や事業検証を行う。

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容				
☆ 3-(2)-8	一般住宅への新エネルギー導入や省エネルギーの推進	東日本大震災を踏まえ、一般住宅の電源確保のため、新エネルギーの導入及び省エネルギーを推進し、CO2削減を図るために、太陽光発電設備並びに蓄電池設備の補助制度を導入する。	進捗率 A	平成24年度は、太陽光発電設備並びに蓄電池設備の補助制度を導入することとしていたが、補助制度を導入し、広報誌等やイベント等を利用したPRも合わせて実施したことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。				
			達成率 C	目標は「新規導入件数100件/年としていたが、平成24年度の導入件数は72件に留まったことから、**「遅れている」**と評価した。				
				目標	H22	H23	H24	H25
				新規導入件数　100件/年	―	―	72	
		事務事業名		決算額	0	0	5,023	
		住宅用太陽光発電設備等導入支援事業	今後の課題	実際に設置した市民の声として、「太陽光設備や蓄電池設備並びにHEMS機器を導入することで、どのような効果があったか」をアンケート等で調査し公表するなど、より広く市民に周知していく必要がある。				

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
☆ 3-(2)-9	次世代のエネルギー利用の構築	進捗率 A	構成する2事業すべてが工程表どおり実施されたことから、全ての項目について**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	構成する2事業すべてが施策の目標を達成したことから、**「目標を達成済み」**と評価した。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容				
東日本大震災を踏まえ、次世代のエネルギー利用のあり方を再検討し、現状にそぐわなくなってきている「弘前市地域新エネルギービジョン」を見直し、新たな構想を策定することで新エネルギーの導入や省エネルギーを推進する。	・地域新エネルギービジョン見直し事業	進捗率 A	スマートシティ構想の策定に合わせて、工程表どおり平成24年度中に見直ししたことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。				
		達成率 A	目標である「新エネルギービジョンの見直し(平成24年度)」を達成したことから、**「目標を達成済み」**と評価した。				
			目標	H22	H23	H24	H25
			新エネルギービジョンの見直し(H24)	―	－	1	
			決算額	0	0	4,694	
		今後の課題	再生可能エネルギーの導入にあたっては、国等の財源を確保しながら進め、エネルギーの自給率の向上を図っていく必要がある。				
	・スマートシティ構想策定事業	進捗率 A	工程表どおり、平成24年度中にスマートシティ構想を策定したことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。				
		達成率 A	目標である「スマートシティ構想の策定(平成24年度)」を達成したことから、**「目標を達成済み」**と評価した。				
			目標	H22	H23	H24	H25
			スマートシティ構想の策定(H24)	―	－	1	
			【参考】スマートシティ構想プロジェクトの着手件数　2件	―	－	4	
			決算額	0	0	5,436	
		今後の課題	スマートシティ構想とともに、雪対策総合プランの進行管理をしていく必要がある。				